



第14回 韓日親善会議へのお誘い

敬愛する日本のロータリアンの皆さま

昨年5月28日～6月1日、韓国ソウルで開催された、韓国で2回目の国際ロータリー（R I）年次大会には、日本から約6,800人のロータリアンが、友情の橋を渡って参加してくださいました。皆さまの献身的なご協力により、ソウル国際大会は素晴らしい大会として成功裏に終わりましたことを、韓日親善委員会の代表として、心から感謝と敬意を表します。

来る9月23日には、グランドハイアットソウルで第14回韓日親善会議を開催することになりました。当地の準備委員会では、格調高い基調講演、多彩なエンターテインメントなど、バランスの取れた立派な大会になるよう、熱心に準備を進めております。

ご存じかと思いますが、世界は今、新たなデジタル革命のとば口に立ち、摩擦は避けられません。しかし、リスクを取って技術革新や投資に挑む冒険者も、国境、地域、人種を超えてつながりつつあります。お互いの断絶の歴史は、未来の飛躍を予感させております。断絶を超えて未来へ向かう鍵は、これまで世界経済を引っ張ってきた欧米ではなく、アジアとなっております。

イギリスの経済学者アンガス・マディソン（1926～2010）の長期推計によりますと、世界のGDP（国内総生産）のうちアジアのシェアは、第一次世界大戦前の1913年には約25%でしたが、2003年には約40%まで拡大し、成長するアジアの時代はなお続いて、2030年には53%まで高まると予測しています。そういう意味において、われわれ日韓両国のロータリアンはさらに力を合わせ、今後アジアの主導的役割を果たす重要な時期が到来したと思っております。

両国の友好と親善の絆を一層深めるため、日本のロータリアンの皆さまが積極的にご参加くださるようお願い申し上げます。9月23日、グランドハイアットソウルでお会いできることを楽しみにしております。

第14回韓日親善委員会委員長 蔡 熙乗
(1997 - 99年度R I理事)

韓日親善委員会の蔡熙乗委員長からいただいたメッセージを受け、私からも第14回韓日親善会議についてお願いをいたします。

本会議は30年以上前、当時のR I会長のアドバイスにより“平和の樹立は隣国との親善から”との趣旨のもと、スタートしました。この時、R I会長の唱導で始めた同様の隣国親善は計7つありましたが、現在存続しているのは日韓1つだけであります。

ご高承の通り、日韓関係は本会議スタート後も波風のたため時はなかったと言っても過言ではありません。しかし、両国ロータリアンの善意はどんな逆境にも屈することなく、しっかり手を組み友情を深め合って今日に至っています。去る熊本地震に際しては先方の委員長が200万円の義援金を届けてくださいました。また、東日本大震災の時は桁違いの義援金をいただきました。

ロータリーとしては両国間の姉妹クラブも増加しており、協同の奉仕活動も依然活発です。私たちは、崇高なロータリー精神を共有し、奉仕に、そして、親睦に、さらに努力していかねばなりません。よい社会をつくるには、よい人とよい人が手を携えよいことを進めていくことが大切です。これを進めていると平和は近づいてきます。

韓国のロータリアンには素晴らしい人がたくさんおられます。日本にも同じように素晴らしいロータリアンがあふれるほどおります。双方がもっと固く、より広く手を組めば、さらに進んだ次元での素晴らしい関係は必ずできます。両国の先輩ロータリアンたちが必死に守ってきた、この親密な関係を、皆さまとともに、さらに進めていこうではありませんか。

前回は日本からは450人の方に参加いただきました。韓国関係者は大感激でした。今回もそれに勝る、少なくとも500人程度は参加していただきたいと委員一同念願しております。ぜひ、多数の方にご参加賜りたくお願い申し上げます。

第14回日韓親善委員会委員長 市川伊三夫
(2005 - 06年度第2750地区ガバナー)

第14回韓日親善会議

日 時：2017年9月23日（土）13時～
場 所：グランドハイアットソウル
登録料：1万6,000円（晩餐会を含む）

各地区ガバナー事務所を通じて、7月31日までにお申し込みください。

日韓親善委員会事務局(第2750地区ガバナー事務所内)
事務局長 松下 昌夫 電話 090 - 8859 - 0351